

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

公表: 令和7年2月1日

事業所名: デイサービスダッシュ新小岩

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	10	1		指定基準以上の十分なスペースを確保している。
	2	職員の配置数は適切であるか	7	4		マンツーマンの対応が出来るよう配置している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	11			配慮している。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	10	1		多くの職員が参加出来る機会を作る又不参加の職員にも議事録等に必ず目を通すよう徹底し、情報共有している。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	10	1		保護者様から頂いた内容をもとにスタッフ間で話し合い、よりよい支援につなげていくよう努めている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	10	1		ホームページで公表している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	3	6	第三者による外部評価は行っていない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	11			月1回の研修会を実施している。また必要と感じた外部の研修にも参加している。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	10	1		半年毎に保護者様と面談を行い、それをもとにスタッフ間で会議し計画を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	8	3		重症心身障害児向けのアセスメントツールを自社にて作成している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7	4		様々な職種からの視点で意見を出し合い、活動プログラムを作成している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8	3		限られた制約の中でも固定化しない様、変化や新しい取り組みが出来るよう工夫している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	9	2		限られた時間の中で行える事を常に検討している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	9	2		専門職と協力しながら行っている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	11			毎日行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6	5		出来る範囲で振り返りを行い、共有ノートを利用して全スタッフに共有している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	11			日々の記録は連絡ノートやリハビリ経過記録に記載している。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	9	2		面談の機会を作っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	9	2		
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	9	2		児発管や看護師などその場にふさわしい者が参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	11			学校主催の定期的な連絡会に参加している。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	11			指示書の発行をして頂いている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	6	5		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	8	3		依頼があった場合には提供していく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7	4		研修の機会があったときは積極的に参加している。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	7	2	2	保育園との交流を行っている。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	4	7		放デイ事業所連絡会や研修等には積極的に参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	11			送迎時や連絡ノート、LINE、電話、面談などで共通理解出来るよう努力している。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	8		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	11			主に契約時に説明している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	10	1		保護者様からの相談には都度対応している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	6	3	保護者会等は開催していない。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	10	1		対応の体制を取っている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8	2	1	年度初めに一年の行事予定をプリントにして発行している。又毎月活動の様子等をインスタグラムとフェイスブックにアップしている。
	35	個人情報に十分注意しているか	11			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	10	1		自宅や学校でどのように意思疎通しているか情報共有し、同様の方法で行うことで児が混乱しない様配慮している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	7	3	事業所への招待は行っていないが今後検討していく。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	10	1		策定し、資料を配布している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	11			年二回の避難訓練を行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	11			定期的に研修を行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	11			現状該当者はいないが必要時には委員会を開き決定し、児と保護者様に十分な説明を行う。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	11			保護者様から情報収集をし、表を作成している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	11			作成、共有し再発防止に取り組んでいる。